

理解言語はあるのに、あまり自分から話さない子に絵カードを使いながら、話しやすいように指導します。

その1 答えを選択させる

例1 りんご、みかん、いちごの絵カードを見せて

「この中で、どれが好き？」と聞きます。

絵カードの一枚を指させば「・・・が好きか？」と問い直し、返事を待ちます。

例2 家族の絵カードを並べて、「きょうは誰ときたの？」と聞きます。

絵カードの一枚を指させば「・・・と来たの？」と問い直し、返事を待ちます。

例3 「ことばの教室に電車で来たの？自動車で来たの？」と聞きます。

絵カードの一枚を指させば「・・・で来たの？」と問い直し、返事を待ちます。

その2 絵カードを見せて、「はい」「いいえ」を答え、想起させる。

運動会が終わったところに

玉入れやつなひき、徒競走、リレーの絵カードを見せて「こんなのした？」と聞きます。

絵カードの一枚を指させば、「・・・をしたの？」と問い直し、返事を待ちます。

その3 絵カードを見せて、お話を作り、モデルを示しながら、想起させる、模倣させる。

遠足が終わったところに

遠足に行く子ども、お弁当、水筒、おやつ絵カードを一枚ずつ見せて、文を作ります。

えんそくにいきます。

おべんとうをもっていきます。

すいとうをもっていきます。

おやつをもっていきます。

バスでいきます。

どうぶつえんにいきます。

どうぶつえんには、ぞうがいます。

.....

と文を書きます。

そのあとに

「・・・君は遠足に何を持っていったの？」

「・・・君は何に乗っていったの？どこに行ったの？」

「そこに、なにがあったの？なにがいたの？」
と聞いて、返事を待ちます。
書いた文がありますから、返事をしやすくなります。